

♪♪♪ 歌でたどる ♪♪♪  
**朝鮮・韓国、日本の近現代史**

**講師 朴 燦 鎬 (パク・チャンホ) さん**

「アリラン」「鳥よ、鳥よ」に始まる朝鮮の近代謡は、様々な変遷を経ながら今日にいたりました。「鳳仙花」「木浦（モッポ）の涙」から“軍国歌謡”の時代を経て、1970年代の「朝露」まで、歌を通して、朝鮮・韓国、日本の近現代史をたどり、その時代を生きた人々の心に触れたいと思います。

「韓国歌謡史」を出版した在日二世の朴燦鎬さんをお迎えして、半生をふり振り返りながらお話を聞きます。当時の音源で楽しく聴きながら、歌の力を感じて歴史と向き合うことができたら・・・と企画しました。



**4月13日(土)**

**15時~17時**

**会場 高麗博物館 展示室**

**参加費 1000円 (入館料含む)**

申し訳ありませんが、講演会当日は14時から展示を見ることができません。

**朴 燦 鎬 (パク・チャンホ) さんのプロフィール**

1943年、名古屋に生まれる。大学卒業後、在日韓国青年同盟に参加し、1969年、出入国管理法案を廃案に。民族時報社勤務。1945年以前の朝鮮や日本の歌、レコードに関心を持ち調査して、1987年に「韓国歌謡史(1895-1945)」(晶文社)を出版。2009年には、その改訂版と続編(1945-1980)(計2366曲を収録)をソウルで出版。韓国の人にこんな資料が欲しかったと感謝された。日本での出版のための翻訳、及び点検をしている。